



りんご特報 No.7

令和7年7月17日
JA中野市園芸課
JA中野市りんご・もも部会

高温により害虫の発生が心配されます。シンクイムシ類、ハダニ類、カイガラムシ類などの発生状況をこまめに観察し、防除を徹底して下さい。（注意事項参照）

【第10回 定期散布】 *散布時期は目安です。

【定期散布】散布日

___月 ___日()

散布量

___ ℓ

散布時期	7/29~8/5	*前回から14日以内	
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤（スカッシュ）	100ml	
	マイトコーネフロアブル	100ml	（前日、1回）
	エクシレルSE	20ml	（前日、3回）
	ダイパワー水和剤	100g	（前日、3回）
対象病害虫	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病、黒星病、褐斑病 シンクイムシ類、キンモンホソガ、ナミハダニ、リンゴハダニ、 ケムシ類、コガネムシ類、ハマキムシ類		
散布量	600ℓ / 10a		
注意事項	①【シンクイムシ類、カメムシ類対策】 エクシレルSEに代えて、アーデントフロアブルの2,000倍（前日、3回） を使用する。 ②【カイガラムシ類対策】 トランスフォームフロアブルの2,000倍（前日、3回）を加用する。		

◎R7栽培日誌の配布について

大変お待たせ致しました。7/17の配布日から順次、栽培日誌の配布を進めております。本年も記帳並びに提出をお願い致します。（提出は最終防除終了後）

隣接園に薬剤が飛散しないよう十分注意して下さい。

次面もご覧ください。（高温対策 他）

【高温対策について】

1. 土壌の乾燥防止

- ①かん水 : 定期的なかん水を行なう。(晴天が概ね5~6日続いたら実施)
 - ・かん水設備がある場合：1回当りの散水量10mm程度(目安)
 - ・かん水設備のない場合：タンク等で水を運んで根元に集中的にかん水する
*1樹当たり100~200ℓ程度(目安)
- ②雑草管理 : 短く刈り込みすぎないように注意する。
- ③樹冠下マルチ : 敷きわら等を実施する。幹まわり2m範囲中心に。厚さ5cm程度)

2. 日焼け防止

- ①着果位置 : 直射日光が当たる樹冠外周よりも、樹冠内部の果実をなるべく残す。
- ②新梢管理 : 骨格枝背面の新梢は適度に残し、日除け枝として利用する。
*30~50cm間隔に1本新梢を残しながら間引く。
- ③白塗剤の塗布 : 直射日光が当たる骨格枝背面にフジホワイトや農業用白ペンキを塗布する。
- ④寒冷紗の設置 : 日焼けが心配される園の南~西側に寒冷紗を設置する。

【シナノリップ収穫前管理について】

1. 収穫予想 : 中野市 8/10頃 *満開後105日 収穫は3回以上に分けて行う

2. 着色管理

1回目 : 葉摘み。7月中旬頃/曇りの日、最高気温30℃程度の日をねらって行う。

摘む葉は1果2枚までとする。

2回目 : 収穫10日前頃「タイバック」を敷くと樹幹内部の果実が着色しやすくなる。

3. 心かび果の判断ポイント *7月中旬頃から心かび果が出てきます！

- ・異常に早く着色した果実
- ・地色の抜けが異常に早い果実
- ・収穫期に近づくほど、全体的に着色が進み、心かび果かどうかの判断が難しくなります。
まずは、割ってみて心かび果かどうかを確認してください。

問合せ先 : 園芸課 23-3933

次回発行予定

8/4